

LTFU 外来見学研修

平成 29 年 3 月 23 日（木） 広島赤十字・原爆病院 看護師 2 名参加

広島赤十字・原爆病院は、平成 28 年 1 月より、LTFU 外来を開始した施設です。よりよい支援につながるように、当院の LTFU 外来の見学研修をされました。

9:00	・支援外来見学 ・LTFU 外来についての説明
12:00	～お昼休憩～
13:00	・支援外来見学 ・LTFU 外来についての説明
14:00	・LTFU 外来 1～2 件見学
15:00	・意見交換
16:00	・終了

～ 当院の LTFU 外来 ～

午前 ○血液検査・検尿 ○胸部レントゲン
○呼吸機能 ○医療支援歯科治療部
○眼科 ○婦人科 ○心臓超音波
○心電図

午後 ○看護相談(BCR 看護師 または HCTC)
○血液内科医師診察
検査結果をもとに、説明を行います。

支援外来見学では、3 名の患者さんの GVHD の評価、日常生活上の相談・指導を見学。



LTFU 外来では、2 名の患者さんについて、節目外来医師の検査後の説明、データをふまえての GVHD の評価・指導を見学。

移植前支援として、患者さん 1 名に付いて医師の IC に同席し、意思決定支援から BCR 見学および、その際の説明に至るまで見学。



研修後のアンケートにおこたえします。

研修内容など総合的に満足いただける評価をいただきましたが、わかった点として、「患者さんへの精神面のフォローや社会的役割について、具体的にどう動いているのか見えにくかった」というご意見について。

→ 研修当日、実際に患者さんの質問がなかったので、わかりにくかったと思います。精神面のフォローについては、傾聴をこころがけ、アドバイスできることがあればしています。

社会復帰への支援については、患者さんが社会復帰を考え始める頃、外来担当医師に相談するように説明し、必要であれば総合患者支援センターのソーシャルワーカー等窓口を紹介しています。また、軽作業の部署への異動を提案するなど、アドバイスをしています。

研修以外でのお気付きの点で、「研修申込み時に検査が多く、手続きに時間がかかった。項目の多さに驚いた」というご意見について。

→ お手数おかけして申し訳ありませんでしたが、当院の規程により、院内感染防止対策及び実習生・研修生等の安全確保のため、院内立ち入り者に対して検査をお願いしております。

小児ウイルス疾患の抗体陰性で、ワクチン接種が完了していない実習生・研修生については、原則として、小児領域や BCR など免疫抑制がある患者様が入院する部署の実習等は認められていません。

検査項目はホームページ「研修・見学」の [感染対策証明書](#) に掲載しています。お手数ですが、お申込み前にご確認いただくと幸いです。

その他、研修評価やご感想

研修でよかった点

- 実際にチームとして動ける場合、こんなにも上手く流れていけることを知った。
- 工夫されている箇所を知ることができてよかった。
- 資料をたくさんいただけたのでとても助かった。

研修を通して新たに学ぶ必要があると思った点

- 基礎知識をしっかり身に付ける。
- チームとしての役割を充実させるための方法。

ご感想

- 長い時間、話を聞いてくださり、大変感謝しています。より多くの症例を見せて頂く機会を下さったスタッフの方や、患者様に感謝の気持ちで一杯です。
- 課題は山積みですが、少しでもLTFUが軌道にのっていけるよう頑張りたいと思いました。

BCR 看護師長より

28年度は拠点病院事業の2年目となり、看護部門の現地研修を行いました。新人看護スタッフが業務に慣れた9月頃から、1～3日間のプログラムで見学研修を受け入れています。11月と12月に2施設ずつ、3月に1施設のお申込みがあり、計5施設、9名の看護師の方に、研修に来ていただきました。

研修プログラムは、自分たちの日頃の看護実践の現状をご紹介する形の座学と、病棟内看護場面見学とを組み合わせたものにしております。研修生をお受けすることは、私たちの看護実践について振り返るよい機会となり、施設間スタッフ同士の情報交換は有意義な時間となっています。

造血細胞移植看護に頑張る仲間同士です。どうぞ晴れの国 岡山においでください。そしてセミナー受講、見学研修にぜひご参加ください。29年度より、中国ブロックに出向いて行う「出張セミナー」も検討しておりますので、お気軽にお声をおかけください。

BCR 看護師長 小野佳子